



1月

謹賀新春

# 幸楽苑だより

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑  
発行日：令和8年 1月1日  
TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522



## 「新年挨拶」

宇部幸楽苑 苑長 前川剛志



新年あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、年末年始を健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

旧年中は関係施設・病院には大変お世話になり、入苑者の急性期疾患に対応することができました。衷心より御礼申し上げます。

私が苑長を拝命してから早三年になりますが、宇部幸楽苑の現場を職員とともに、入苑者目線で改革して参りました。特に力を入れ、職員全員で取り組んだことの一つに新型コロナウイルス感染症があります。各種の予防策は勿論のこと、感染症発生時には徹底したゾーニングと換気を行いました。そして、休日でも超早期の診断と治療を行える体制を採りました。

お陰様で、どなたも亡くなることなく、現在に至っております。

次に、昨年四月からは科学的事実に基づく運営に取り組んで参りました（厚生労働省のLIFEに対応）。

この事により、入苑者により良い栄養管理・介護・看護・リハビリテーション・老人医療をお届けする体制ができましたので、入苑者とそのご家族に全人的で温かいサービスを提供できます。

そして、入苑者がお元気になって自宅や施設に帰ることができる老健を目指して参ります。

このような取り組みの中で、職員は科学的な思考能力を高めることができ、昨年十一月に下関市で開催された全国老人保健施設大会で4名の職員が発表、1人が座長を致しました。

地域に根差した老健、科学的背景を現場に生かす老健、職員が働き易い老健として、オンリーワンの老健を目指して職員一同精進して参りますので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 「全国介護老人保健施設大会in山口で発表してきました」

介護主任 金山 徹郎

この度、老健大会にて「介護職員増員に至るまで」当たり前を見直す」という研究テーマで発表してきました。現場職員と事務の人事部門とが協力して採用活動に注力した結果、今までは十年かけて十三名の採用数でしたが、令和六年度は介護部門で介護助手五名を含めて十名の介護職員を確保できました。職員の発想の転換により、今までは事務サイドに任せていた採用活動を現場職員が直接求職者と話す機会を設け、現場の生の声を伝える事が出来た事が良い結果に繋がったと考えられます。今後は、介護職と介護助手の役割をより明確にし、利用者様により良いケアを提供できるように尽力して参ります。良い経験をさせて頂き有難うございました。

支援相談員 有吉 真彦

令和七年十一月二十七・二十八日と全国介護老人保健施設大会山口大会が下関であり、発表者として参加させていただきました。

発表自体は二回目だったのですが、なにせ久しぶりだったので緊張しました。今回のテーマは、相談員として在宅復帰について事例を出して発表しました。

当苑では在宅復帰をされる方が少ないですが、今回の事例のご家族は介護未経験で、食事の用意もあまり得意でありませんでしたが、在宅サービスなどを使って一ヶ月ではありますが無事に帰って来られました。本人・家族共に喜ばれ、今後に繋げていけたらと思います。

理学療法士 富田 康平

この度、老健大会にて発表してきました。発表の内容としては、幸楽苑の職員も高齢化が徐々に進み、いかに身体に負担をかけずに介助をするかというのが課題となっていました。その中で古武術介護法という方法を使用し移乗動作がどれだけ楽になるかというテーマで研究し発表しました。

元々、人前に立つて何かをするタイプではないのでとても緊張しましたが、とてもいい経験になりました。今後も継続していかに負担をかけずに介助をするか研究し職員・利用者様ともども負担軽減できればと思います。

看護師 松田 高一郎

この度、全国老健大会にて、テーマ「かぶせ気味側臥位による重症肺炎からの回復」について発表してまいりました。かぶせ気味側臥位という特殊な体位変換による重力を利用した排痰方法での改善例で、今回は症例報告という形での発表でした。今後は臨床での検証を続けプロトコルの作成へとつなげていきより良い看護が提供できるようにしていきたいと思っています。

幸楽苑に入社して初めての発表で緊張しましたが何とか無事に終えることが出来ました。貴重な経験の場を与えて頂き有難うございました。

## 「徒然なるままに…」

2階 看護師 徳本 綾香

新年あけましておめでとうございます。今年は午年で飛躍の年と言われております。

私は、中学一年生、小学五、三年生の娘、一才三か月の息子がいます。

毎日、朝から晩まで目まぐるしく、気づけば一日が終わっているような感じではあります。

今しかない子供たちとの時間を大切にしようとして夫婦で時間を作り休日は公園やイベント事へと思い出作りに出かけています。

一人一人へのサポートはできているか怪しい私ですが、今年は長女が中学校と新たなステージへ進むので、親子ともども馬のようにパワフルに進んでいきたいと思っています。

皆様の一年がうま(馬)くいきますように！今年もよろしくお願い致します。

